

# KISC 11

2020  
November

Kagoshima Industry Support Center



薩摩酒造株式会社  
代表取締役社長  
本坊 愛一郎さん

今号の表紙



東京ウイスキー&スピリッツコンペティション2020「焼酎部門」で最高金賞を受賞した本格芋焼酎『枕崎』

今号の表紙は、薩摩半島南西部に位置し、東シナ海に面する枕崎市に本社・工場を置く薩摩酒造株式会社の代表取締役社長 本坊愛一郎さんです。

同社は、薩摩に伝わる焼酎製造方法を継承して1936年に設立、今年で設立84年の歴史を持つ鹿児島を代表する老舗本格焼酎酒造メーカーです。

主要製品の芋焼酎のほか、麦焼酎、米焼酎、そば焼酎、さつまいもを使用した発泡酒や芋焼酎を使用した梅酒も製造しています。

◇伝統技術を継承しつつ、新たな取り組みも

代表的な銘柄は本格芋焼酎「さつま白波」。1970年代、当時普及し始めたテレビCMで「6×4（ロクヨン）のお湯割り」「酔いざめさわやか」といったキャッチコピーで広告展開し、鹿児島の地酒だった芋焼酎を全国に広げ、本格焼酎の先駆者として「焼酎ブーム」を牽引してきました。

白波シリーズには、白麹の「さつま白波」、黒麹の「黒白波」、黄麹の「さくら白波」、特許技術「土室糖化芋（つちむろとうかいも）」を原料に自然な甘さを最大化した「MUGEN白波」などがあります。



代表銘柄の本格芋焼酎「白波」シリーズと長期貯蔵麦焼酎『神の河（かんのこ）』

また、明治の頃から伝わる昔ながらの製法「かめ壺仕込み」を行っているのが特徴の本格芋焼酎「枕崎」は、今年7月、東京ウイスキー&スピリッツコンペティション2020「焼酎部門」で最高金賞を受賞しています。

薩摩酒造株式会社

代表取締役社長 本坊 愛一郎

<企業概要>

所在地	枕崎市立神本町26
設立	1936年6月(昭和11年)
従業員数	218名
事業内容	酒類・清涼飲料、果汁その他の飲料の製造販売並びに輸出入等
T E L	0993-72-1231
F A X	0993-72-5554
U R L	<a href="https://www.satsuma.co.jp/">https://www.satsuma.co.jp/</a>

同社の本格焼酎の原料となるさつまいもは、南薩摩を中心とする鹿児島県産だけを用いて製造しており、地元との契約栽培農家と30年以上に渡って関係を深め、二人三脚でさつまいもの品質向上に取り組んでいます。

芋焼酎のほか、二条大麦100%を原料に使用し、単式蒸留による原酒をホワイトオーク樽に3年以上貯蔵した、琥珀色の長期貯蔵麦焼酎『神の河（かんのこ）』は、長期熟成ならではのふくよかな香りとまろやかな味わいで、発売から32周年を迎えたロングセラー商品となっています。



「リチャー」と呼ばれる樽を焼く工程

自社施設の「火の神蒸溜所」内に樽貯蔵庫、樽工房を構え、専属の「樽職人」が樽のメンテナンスまで行っています。

原料のさつまいもの研究にも取り組み、芋ビールの商品化や、焼酎製造で培った技術を活かして、米糶と紫芋を使った発酵飲料の開発も行っています。

現在は、焼酎蒸留残渣から抽出する健康機能性成分の研究や活用にも取り組んでおり、当センターが事業管理機関として支援している、経済産業省の戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業）で、「世界初の脂溶性ポリフェノールの量産化を目的に、独自の抽出・濃縮・精製技術による焼酎かすからの製造技術の確立」をテーマに実用化を目指しています。

◇今後の取組

「地元鹿児島を大切にしたい。地元あつての企業だと思っています。」

焼酎の原料であるさつまいもには無限の可能性があり、そのなかで、現在取り組んでいるサポイン事業を必ず実現させて地域の皆さんに喜んでもらいたい。

社員と会社が一丸となって、社会に貢献しお客様に笑顔をお届けることを目指してまいります。」と、本坊社長は語っておられます。

CONTENTS

2	今号の表紙
3	私の思い
4	経営相談所よろず支援拠点
5	事業承継支援事務局
6	プロフェッショナル人材戦略拠点
7	わが社の輝く女性 上野食品株式会社 平田 さゆりさん
8	応援します！中小企業の経営革新
10	会員企業PRコーナー
12	ベンチャープラザコーナー
15	取引振興コーナー
16	インフォメーション 広告



本社近くにある『花渡川蒸溜所 明治蔵』では伝統製法での焼酎造りを一般公開している他、商品の販売も行っています。

# 私の 思い



鹿児島県知事

しおた こういち  
塩田 康一

鹿児島市出身

1988年3月 東京大学法学部卒業

1988年4月 通商産業省入省

熊本国税局人吉税務署長、  
在イタリア日本国大使館  
一等書記官、経済産業省  
官房審議官などを歴任

2018年6月 九州経済産業局長

2019年12月 経済産業省退官

2020年7月 鹿児島県知事就任

## 県民が豊かになる産業振興 ～中小企業等の「稼ぐ力」の創出に向けて～

県内中小企業等の皆様には、県政の推進につきまして、日頃から格別の御理解、御協力を賜りますとともに、本県の商工業の振興に貢献していただいていることに対し、心から感謝申し上げます。

さて、本県の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、引き続き厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しているところです。一方、国内では、11月に入り、1日当たりの感染者数が過去最多を記録しており、本県においても、クラスターが発生するなど、予断を許さない状況が続いております。

県におきましては、感染予防対策と医療体制の確保を図るとともに経済対策を講じることとしており、農林水産業や中小企業など新型コロナウイルス感染症の影響を受けている方々に対して、新しい生活様式に対応するための感染防止対策への支援や、農林水産業、観光業の需要喚起に対する支援、製造業の新製品開発に対する支援などを行っているところであります。引き続き、県民の皆様の安心・安全と、経済活動、社会活動の両立が図られるよう取り組んでまいります。

本県経済の持続的発展のためには、農林水産業や観光関連産業の振興に加えて、高い技術力を有する製造業や新たな産業の振興などにも取り組んでいくことが重要であります。

本県製造業は、製造品出荷額の5割以上を占める食品関連産業をはじめ、電子関連産業や自動車関連産業など一定の産業集積が図られており、また、県内には、地域の経済の中心的な担い手となり得る「地域未来牽引企業」や独自の技術やノウハウを有する特色ある企業も存在し、本県の経済を支えていただいております。

このような中、今後は、国、県の研究機関や大学、支援機関などとの連携を強化し、生産性向上や技術開発等の支援を通じて、付加価値を高め、「稼ぐ力」を持つ多くの「オンリーワン企業」、「ナンバーワン企業」を生み出していきたいと考えております。

次に、新たな産業の振興などについては、まず、既存の企業の技術力アップやそれに伴う高付加価値化を進めるとともに、将来を担う新たな産業の創出や、起業支援も重要であると考えております。

特に、情報産業やヘルスケア産業など今後成長が見込まれる分野については、大学や支援機関等と連携しながら技術シーズの発掘や人材の育成などに取り組むことが必要であります。

また、起業しようとする人材については、本県産業の成長の原動力となることが期待されることから、起業マインドの醸成や起業に係る知識、情報の提供のほか、資金面も含めた様々なスタートアップ支援を進めていくことが必要であります。

さらに、今般の新型コロナウイルス感染症の影響により、これからは、新たな日常の構築に向けて、あらゆる分野でのデジタル化、スマート化の導入が不可欠であり、5GをはじめとするSociety5.0新時代のインフラを早期に整備し、経済社会のイノベーション創出の動きを更に加速させる必要があると考えております。

こうした取組を通じて、技術力の高い製造業や新たな産業の振興等を図り、一層の「稼ぐ力」を引き出し、地域経済の好循環を高めてまいりたいと考えております。

併せて、廃業等により経営者がこれまで培ってきた経営資源が失われることのないよう、円滑な事業承継の促進を図ってまいりたいと考えております。

県といたしましては、今後とも、本県中小企業支援の拠点である公益財団法人がごしま産業支援センターと密接に連携しながら、中小企業等の皆様の様々な事業展開への支援を通じ、本県経済の持続的な発展や雇用創出につなげていきたいと考えております。

同センターの積極的な御活用をお願い申し上げますとともに、皆様の益々の御発展・御活躍を心からお祈りいたします。

経営相談所  
よろず支援拠点

自営業・会社の社長さん、創業を目指すあなたへ！

**各分野で活躍中の専門家チームが無料で  
何度でもアドバイス、支援いたします！**

新メンバー紹介

**カゴよろ**

かごよろ

よろず支援拠点は、個人事業主・中小企業・創業希望の皆さまへの経営支援体制強化のため、国（中小企業庁）が全国47都道府県に各1ヶ所設置。相談実績約15,000名（約30,000件）、お客様満足度95.6%（2019年11月満足度調査）を誇る無料相談所として約6年間の活動で多くの事業者さまをご支援させていただいています。新たな取り組みや鹿児島県内の支援機関との連携により更にパワーアップしたよろずにぜひ一度ご相談を！



**企業の成長は正しい労務管理から！  
社会保険労務士が健全な経営を  
サポートいたします！**

平成30年社会保険労務士事務所を設立。経営に欠かせない3要素（ヒト・モノ・カネ）のうち、企業に適したヒトの採用から退職までの仕組み作りや、近年多発している労働問題から企業を守るためのルール作りなどのアドバイスを行います。

コーディネーター **隈元 和己**



**離島×WEBで新たな価値を  
作り出したい！島の未来創りを  
お手伝いいたします！**

東京にて映像制作、Web制作を計15年経験後、奄美大島に移住。地域おこし協力隊としてあまみ大島観光物産連盟に所属し観光推進を担当。その後、奄美市中心街に小売店をOPEN。商品開発からWebマーケティングまで行う。

奄美地域担当 コーディネーター **長瀬 悠**



**お客さまに響く商品の作り方、  
百貨店やスーパーに売り込む方法に  
お悩みの方、ぜひご相談ください。**

大学卒業後、百貨店に35年勤め、リビング部門のバイヤーからスタートし、催事担当や新規店舗の開店準備、販売サービス担当長などを歴任。早期退職後は福岡県の地域おこし協力隊として特産品の開発と販路開拓を担当。

コーディネーター **森 武志**



**メイド・イン・奄美を全国へ広げる  
お手伝い！20代で脱サラ起業、  
経験で得たノウハウを伝授します。**

奄美市名瀬出身。東京のIT企業でシステムエンジニアやWebコンサルタントを経験。奄美大島へUターン後、個人事業主として起業、平成27年に法人化。主にネットとクチコミを活用した集客方法（プル型営業）で売上拡大、創業支援を行う。

奄美地域担当 コーディネーター **迫田 真吾**



**ECショッピングのモール攻略から、  
ご自身でネットショップを  
始めたい方まで！**

ECサイト・ホームページ制作／支援歴10年以上！国内・海外計200サイト以上を手掛けた実績で、あなたに最適なカート・サービスなどのノウハウをご提供します。SNS・動画・ライブ配信との連携で、事業の加速をサポート！

コーディネーター **浅井 南**



**種子島・屋久島地域の  
経営相談窓口担当として、  
地域の事業者様の悩みをスッキリ！**

南種子町在住。国際協力と、種子島・屋久島地域の中小企業・小規模事業者の経営支援に従事している。起業支援（ビジネスプラン作成）、経営診断（売上や財務状況の分析等）、経営改善策の提案、中期経営計画の策定支援などに経験・知見を有する。

種子・屋久担当 コーディネーター **菊池 慎吾**

県内各市町村でも定期相談会を開催中です！詳しくはホームページをご覧ください！

サテライト  
Satellite

- |                            |                            |
|----------------------------|----------------------------|
| 大隅よろず相談窓口 ▶ 毎週火・金曜日（要予約）   | 鹿屋市産業支援センター ▶ 鹿屋市北田町3-3-23 |
| 北薩よろず相談窓口 ▶ 毎週木曜日（要予約）     | 川内商工会議所 ▶ 薩摩川内市神田町3-25     |
| 指宿地域よろず相談窓口 ▶ 毎月第4金曜日（要予約） | 指宿商工会議所 ▶ 指宿市大牟礼1-15-13    |
| 奄美大島よろず相談窓口 ▶ 毎月1～2回（要予約）  | 奄美大島商工会議所 ▶ 奄美市名瀬入舟町12-6   |

**鹿児島県よろず支援拠点 Tel.099・219・3740 ✉ yorozu@kisc.or.jp**

〒892・0821 鹿児島市名山町9番1号〔産業会館1階〕／Fax.099・223・7117／受付時間 平日8:30～17:15／<https://yorozu-kagoshima.jp>

事業承継支援事務局

円滑な事業承継をサポート！  
相談無料。秘密厳守します。

相談無料  
秘密厳守

◇親族や従業員への事業承継を支援

かごしま産業支援センターでは、鹿児島県事業承継支援事務局を設置しています。

事務局では、事業承継でお困りの県内の中小企業に対して、事業承継コーディネーターが「かごしま中小企業支援ネットワーク」の構成員（各地域の商工団体や金融機関等）と連携しながら、税理士、中小企業診断士、弁護士などの専門家を派遣して、円滑な事業承継をサポートします。

また、令和2年4月1日から経営者保証コーディネーターを配置し、事業承継に際しての経営者保証解除に係る支援を開始しています。

◆専門家派遣等支援実績◆（平成30年9月～令和2年10月）

相談件数：311件（うち、令和2年4月～令和2年10月：83件）

専門家派遣回数：229回（うち、令和2年4月～令和2年10月：98回）

まずは事業承継支援事務局又は地域の商工会・商工会議所やメインバンクにご相談ください。事業承継診断で自社の現状を把握いただき、ご希望に応じて課題解決をお手伝いする専門家を派遣します。専門家の派遣は、原則年3回まで無料となっており、後継者育成に係る専門家派遣等も行っています。今年度は県内各地域で個別相談会を実施し、さらに後継者研修も実施しています。後継者研修は、1月13日（水）、20日（水）、27日（水）、2月3日（水）、10日（水）、17日（水）に2期目を開催する予定です。

企業の未来は次代を担う後継者次第！  
**中小企業のための後継者研修** 定員 20名 + 支援機関

開講日  
11月12日\* 11月18日\* 11月25日\*  
12月2日\* 12月9日\* 12月17日\*

各回 13:30～16:30

場所 Party Hall HINATA 定員 20名+支援機関  
鹿児島市港下16-1-17 キャナル3階

公益財団法人 Kagoshima Industry Support Center  
かごしま産業支援センター  
【令和元年策定 アジャイル型事業承継支援高度化事業】

受講内容

<b>1 11月12日*</b> 1. 事業承継の意義と意識 2. 事業承継の手続き 3. 事業承継のリスク 4. 事業承継の成功事例 5. 質疑応答	<b>2 11月18日*</b> 1. 事業承継の意義と意識 2. 事業承継の手続き 3. 事業承継のリスク 4. 事業承継の成功事例 5. 質疑応答	<b>3 11月25日*</b> 1. 事業承継の意義と意識 2. 事業承継の手続き 3. 事業承継のリスク 4. 事業承継の成功事例 5. 質疑応答
<b>4 12月2日*</b> 1. 事業承継の意義と意識 2. 事業承継の手続き 3. 事業承継のリスク 4. 事業承継の成功事例 5. 質疑応答	<b>5 12月9日*</b> 1. 事業承継の意義と意識 2. 事業承継の手続き 3. 事業承継のリスク 4. 事業承継の成功事例 5. 質疑応答	<b>6 12月17日*</b> 1. 事業承継の意義と意識 2. 事業承継の手続き 3. 事業承継のリスク 4. 事業承継の成功事例 5. 質疑応答

申し込み書

お名前、性別、年齢、会社名、役職、住所、電話番号、Eメール、お問い合わせの理由、希望の研修日、希望の研修時間、希望の研修内容、希望の研修講師、希望の研修費用、希望の研修会場、希望の研修言語、希望の研修形式、希望の研修回数、希望の研修期間、希望の研修回数、希望の研修期間、希望の研修回数、希望の研修期間

公益財団法人 Kagoshima Industry Support Center  
かごしま産業支援センター  
【令和元年策定 アジャイル型事業承継支援高度化事業】

鹿児島県事業承継支援事務局  
〒890-2121 鹿児島市白旗分室1号鹿児島会館2F  
TEL: 099-219-8123 FAX: 099-219-1279  
E-mail: syoukei@kisc.or.jp

専門家派遣等のお問合せは、

◇（公財）かごしま産業支援センター 鹿児島県事業承継支援事務局  
TEL：099-219-8123 FAX：099-219-1279  
E-mail：syoukei@kisc.or.jp

## プロフェッショナル人材戦略拠点

企業のチャレンジを担える人材との  
マッチングをお手伝いします！

## ◇都市圏等のプロフェッショナル人材とのマッチングをサポート

鹿児島県プロフェッショナル人材戦略拠点では、人材戦略マネージャーをはじめ4人のスタッフが、登録人材紹介事業者や地域金融機関等と連携して、県内の高い成長力を持つ企業や新たな経営戦略・プロジェクト等に取り組もうとしている企業の方々と、都市圏等のプロフェッショナル人材の皆さまとのマッチング・採用をサポートしています。

## 採用成約は215件（拠点開設以降累計）

平成28年1月の拠点開設以来、1,079件の企業訪問や相談対応を行い、具体的な求人活動に至った598件のうち、215件(人)のプロフェッショナル人材の採用成約が実現しました。（令和2年10月末現在）

## 《企業訪問・相談活動の実施状況》

令和2年10月末現在

区 分	今年度累計	開設以降累計
企業訪問・相談件数	108件	1,079件
求人取次件数	84件	598件
採用成約件数	59件	215件

※ 拠点開設：平成28年1月29日



## 第8回 「プロ人材求人相談会」を開催

去る10月23日、地域金融機関の協賛を得て、県内求人企業18社と人材紹介事業者等12社との「求人相談会」を開催しました。

求人相談件数は25件。企業が求めるプロ人材像は、経営や経理の統括・中核人材をはじめ、WEB・システム開発や販路拡大人材、技術部門の有資格者など多岐に亘っています。

この相談会の内容を踏まえて、人材紹介事業者によるプロ人材の人選と紹介、面談等が進んでおり、プロ人材の成約に向けて活動中です。

相談会を契機に、多くのプロ人材の採用・成約につながることを期待しています。

## 【第8回求人相談会の参加状況】

令和2年10月23日

参加企業数	18件
相談件数	25件

※ 過去8回求人相談会の採用成約件数 129件  
（令和2年10月末）



今後とも、県内企業の成長発展を人材面で積極的にサポートします。

まずは、ご相談ください。

## 「プロフェッショナル人材戦略拠点」

人材戦略マネージャー 古川 伸二  
サブマネージャー 福永 敬大  
人材活用支援専門員 内田 健一郎  
人材活用支援専門員 野元 慶一  
人材活用支援専門員 有村 吉弘（新任）

◇（公財）かごしま産業支援センター  
鹿児島県プロフェッショナル人材戦略拠点  
TEL：099-219-9277 FAX：099-219-1279  
E-mail：projinzai@kisc.or.jp  
URL：https://www.kagopro.jp/

# わが社の輝く女性！

今号は、竹の生産量日本一の鹿児島県で、国内トップシェアを誇るたけのこ水煮缶詰や加工品を製造している上野食品株式会社で、品質管理と商品開発を担当している平田さゆりさんです。

## 上野食品株式会社

所在地：阿久根市山下7607  
 設立：1963年7月  
 従業員数：20名  
 事業内容：筍を主とした農作物、山菜、惣菜、  
 青果物、製造加工、卸販売ならびに  
 小売販売  
 TEL：0996-73-1500  
 FAX：0996-73-1830  
 URL：<http://uenoshokuhin.com/>  
 E-mail：n0996723@basil.ocn.ne.jp

平田 さゆりさん  
 品質管理課 係長

1996年入社  
 趣味：料理、スポーツ



### ◆会社紹介

弊社は1963年創業、年間で約1,000tのたけのこの水煮を製造しています。

産地からいち早く届けられた九州産たけのこを、おいしさそのままに加工して全国へ発送しています。

鹿児島県は竹林面積日本一。温暖な気候に育まれた超早掘りたけのこは、10月～12月に皮付きのまま青果物として京都や関東の料亭などへ出荷しています。その後、最盛期を迎える4月は1,000人近い農家から毎日のように届くたけのこを水煮の缶詰に加工し、1年分をストックします。

私たちのたけのこ作りは、人・環境・土を大切にしています。南九州で長年たけのこを育てる経験豊かな農家と契約し、生産者組合をサポートすることで確かな品質のものを安定供給できるようにしています。朝掘りのたけのこを迅速に加工し、高品質で安心、安全な商品づくりに努めています。



### ◆会社での現在の担当部署は

品質管理と商品開発を兼務しています。

品質管理では、社内での細菌検査やクレーム報告・改善、在庫管理などを行っています。

商品開発では、お客様にたけのこの色々なカット形態を提案しています。また、味付け品の開発も行っています。現在は、作業効率についても勉強中です。

### ◆入社のきっかけは

仕事を探していたところ、友人に弊社を紹介してもらいました。たけのこの加工作業をする工場と聞いて、実家にたけのこ山があることもあり興味が沸きパートで入社しました。

10年前工場長を経て、現在に至っています。

### ◆仕事上での印象深い体験談など

4年程前に、品質管理の業務に携わり始めました。当初は何をどうやったら良いのかわからず手探り状態でしたが、かごしま産業支援センターのカイゼンインストラクターの指導のもと、マニュアル作成に取り掛かりました。

初めての人でも見てわかるようにと教えられ、自分には当たり前のことが、当たり前ではないことがわかり勉強になり、なんとかマニュアルも作成することができました。

### ◆品質管理への思いや心がけていること

安心・安全な商品を作るため、常日頃からクレームのない良い商品づくりを心がけ、作業効率アップにつながるよう頑張りたいと思っています。

生活様式も変わってきており、お客様のニーズに合ったカット形態、味付けなど開発し、たけのこ本来の食感や素材を生かした商品づくりを心がけています。

たけのこ製品は原料が命です。お客様に安心しておいしいたけのこを食べていただけるよう、農家とも取り組んでいきたいと思っています。



たけのこ水煮、たけのこ御飯の素などの各種商品

### ◆会社への思いや抱負について

先輩方に教えてもらってきたことを、今度は自分が教える立場になり、難しさを実感しているところです。これから先、若い世代にもたけのこのおいしさが伝わるような取り組みができるようになればよいと思います。

弊社はOBの方、70歳以上の人でも元気であれば働いています。私も元気で長く働きたいと思っています。

# 応援します！中小企業の経営革新！

## ～経営者のための経営革新支援制度活用術～

- 当センター及び県では、事業者が新たな事業活動を通じて経営の向上を図る取組を支援しています。
- このシリーズでは、「中小企業等経営強化法」に基づく経営革新計画を作成、県の承認を受けて支援策を活用し、新事業に取り組んでいる事例を紹介します。



代表取締役 石原 良 氏

### Q. 企業概要・沿革について教えてください。

当社は大正10年の創業以来、和菓子の製造販売を行ってきました。創業者、石原与助の「質と材料は下げたはならない」という思いを受け継ぎ、今でも材料にこだわり、製造に努めております。主力商品である「湯之元せんべい」「ぬれどら焼き」などの伝統の味を守りつつ、近年では、新しい和菓子を開発することへも情熱を注いでまいりました。ラム酒の香りがじゅわりと口いっぱい広がる「ラムドラ」などは、梅月堂こだわりの逸品です。守るべきは守り、常に新たなチャレンジを続ける、そういう和菓子専門店であり続けたいと思います。

### 【経営革新計画のテーマ】

『菓子の効率的な生産体制の確立とブランディング及び販路拡大』

### Q. 経営革新計画に取り組むきっかけとその内容を教えてください。

競合する菓子の種類や小売店の増加、少子高齢化等によるお客様の自然減によって、平成に入ってから売上げが逡減してしまいました。平成25年の代替わりをきっかけに新商品「ラムドラ」「ぬれどら焼き」を開発し、首都圏向けに販路開拓を行いました。その結果、幸いにも少しずつ販路が広がりましたが、「手作りのため十分な量を供給できない」「人手不足による従業員負担の増加」といった課題に直面することになりました。

打開策として、味に影響のない製餡工程の一部・包装工程の機械化を行い、餡の品質向上・安定、包装工程の簡略化による従業員負担の軽減、製造量の向上を実現できました。

また、生産体制が確立できたことから、これまでお断りしていた新たな取引先からの受注も可能となり、県外への商品露出も増加し、商品のブランド力の向上にも繋がりました。

平成29年2月に経営革新計画の承認を受け計画を実行することで、経営の向上を図ることができました。

## 株式会社梅月堂

### <企業概要>

所在地：日置市東市来町湯田2215  
 設立：創業大正10年（昭和30年法人成）  
 資本金：9,000千円  
 従業員数：14名  
 業種：菓子小売業  
 TEL：099-274-2421  
 HP：<http://yunomoto-baigetsudou.com/>

### Q. 経営革新計画承認で活用した制度はありますか。

令和元年度に経営革新支援事業費補助金を、尊敬する経営者からコンサルティングを受けるための費用として活用しました。

自分なりに整理してきた自社の強み・弱みや事業戦略を他者の目でチェックしてもらうこと、自社の歴史をふり返り、企業文化、ミッション、ビジョンを探り当てることを目的として指導を受けました。

その結果、企業文化、ミッション、ビジョンを言葉で表すことができ、会社や経営の在り方に骨太の軸を通すことができました。

### Q. 今後の取組について教えてください。

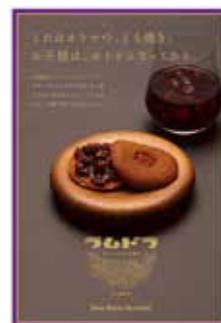
私どもは、「情熱的な深掘りと自由な感性が生み出す和菓子で、頑張るオトナをポジティブにする!」というミッションにコツコツと取り組んで参ります。

現在の社員の平均年齢は30代前半です。ミッションや価値観を共有することで社員のベクトルをそろえて、小さくてもキラリと光る鹿児島一の和菓子ブランドになること、また、若者にとって当社で働くことが憧れとなれるようなビジョナリーカンパニーになることを目指していきたいと思います。

来年創業100年を迎えます。次の100年の土台を築くためにも、新たな経営革新計画を作成するつもりです。

「ラムドラ」

「湯之元せんべい」



**■経営革新計画■**

新商品の開発・生産、新サービスの提供など新たな事業活動を通じて、経営の向上を図ること（経営革新）に積極的に取り組む中小企業を支援しています。

- 【承認基準】** ①新商品の開発又は生産、新役務の開発又は提供など新たな取組であること。  
②付加価値額と給与支給総額の数値目標が次のとおりであること。

経営指標 \ 計画年数	3年	4年	5年
付加価値額（営業利益+人件費+減価償却費）	9%以上	12%以上	15%以上
給与支給総額（給料+賃金+賞与+各種手当）	4.5%以上	6.0%以上	7.5%以上

※法改正に伴い、令和2年10月1日より、経営革新計画の経営指標・計画年数等が変更になりました。

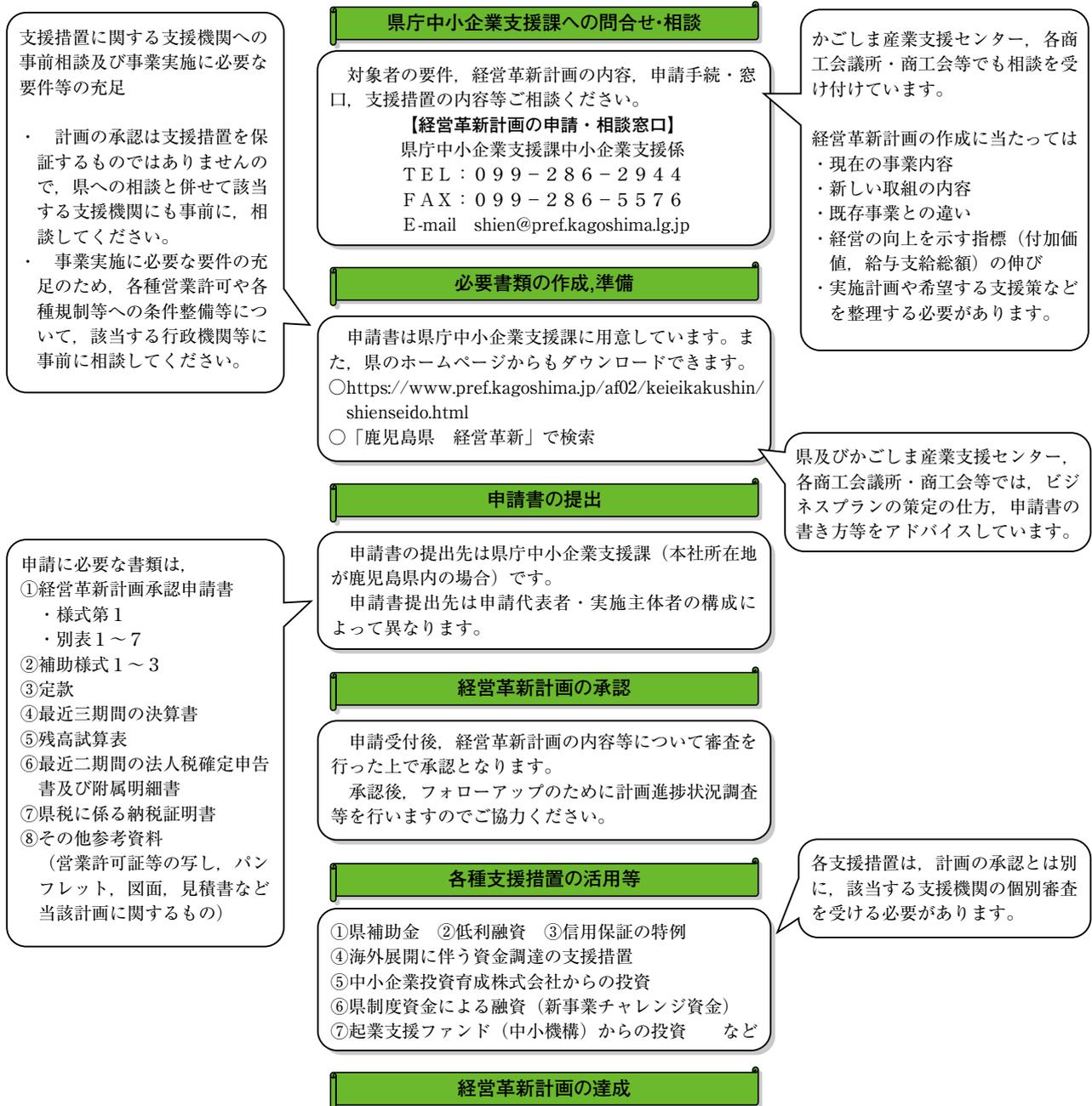
経営指標：経常利益→給与支給総額へ  
最長計画年数：5年間→8年間へ（研究開発期間3年間を含む場合）

※ただし、令和2年12月31日まで、旧基準での申請も可能です。

- 【支援策の内容】** ①日本政策金融公庫による低利融資 ②信用保証の特例 ③県補助金 など  
**【問合せ先】** 鹿児島県中小企業支援課 中小企業支援係

TEL：099-286-2944（直通）、FAX：099-286-5576、E-mail：shien@pref.kagoshima.lg.jp

**経営革新計画承認手続きのフロー**



会員企業PRコーナー【情報会員限定】

事業案内、商品案内、新製品紹介等  
会員企業の営業活動を支援します！

富士屋製菓有限会社

[http:// www.fujiyaame.co.jp](http://www.fujiyaame.co.jp)

伝統「からいも飴」の麦芽製法をそのままに、新しい地域商品づくり

◆鹿児島県産のさつま芋を原料に、300年以上の歴史ある鹿児島県の郷土菓子「からいも飴」を明治19年（1886年）より、1000年以上の歴史ある麦芽製法で作られています。現在は鹿児島県産の甘藷澱粉、九州産のもち米からも伝統の麦芽製法で麦芽糖（水飴）を製造しております。この他に鹿児島県や九州産の農産物などを原料に飴菓子やキャンディを製造しております。

麦芽製法を用いての澱粉を含んだ農産物の麦芽糖への製造や飴への加工、キャンディなどのPBやOEMなどのオリジナル商品開発も行っておりますのでお気軽にお声かけください。



曾於郡大崎町仮宿1194  
TEL 099-476-0067  
資本金 1,000万円  
従業員数 25名  
お問合せ：info@fujiyaame.co.jp

◆事業概要  
鹿児島県の郷土菓子「からいも飴」を中心に、鹿児島県や九州産の原料を使用し飴菓子を製造販売しております。

【1988年7月会員加入】

上野食品株式会社

<http://uenoshokuhin.com/>

南九州のたけのこの里から 安心・安全な国産たけのこをもっと美味しく、もっと身近に

◆日本有数の竹の産地・鹿児島。南九州の契約農家が育てたたけのこを旬の時期に朝一番で掘り出して、産地の作り手ならではの技と迅速さで、鮮度と素材を大切に加工しています。

「若い人にもっと食べてほしい」との思いから、封を切ったらすぐ食べられるギフトや手土産用の商品づくりにも着手しています。

自社で製造した味付け商品を、竹カゴのギフト箱に詰めた「たけのこ美味だより」や、しおりやパッケージに竹紙を使用した「たけのこ味くらべ」など、笑顔生まれる味を全国へお届けします。



阿久根市山下7607  
TEL 0996-73-1500  
FAX 0996-73-1830  
資本金 1,000万円  
従業員数 20名

◆事業概要  
1963年創業  
筍を主とした農作物、山菜、惣菜、青果物、製造加工、卸販売ならびに小売販売

【2005年5月会員加入】

後藤漬物株式会社

<http://www.goto-tukemono.com>

旬の国産青首大根にこだわった、鹿児島ならではの甘めの漬物！

◆ポリポリと歯ごたえの良い、鮮度を保った青首大根を使ったお漬物です。

みずみずしさを保ち、新鮮さを味わって頂けます。

冬季は、地元大崎町近辺の契約農家様から直接仕入れ、夏季には、栽培地のある全国から仕入れ、丁寧に漬け込みます。

糖しぼり大根、べったら漬、その他甘口大根など、様々な味付けのお漬物をご用意しております。弊社にてお買い求め頂けます。

HP (<http://www.goto-tukemono.com>)からの商品のご注文も承っております。(全国発送可：送料別)



曾於郡大崎町永吉237  
TEL 099-476-3267  
FAX 099-476-3687  
資本金 6,000万円  
従業員数 30名

◆事業概要  
漬物製造販売  
原料一次加工品販売

【県内販売先】  
タイヨー、Aコープ、A-Z 等

【2020年4月会員加入】

**掲載企業募集中！** センター『情報会員限定』、掲載料無料です。お申込みは下記まで

【申込み・問い合わせ先】 (公財) かごしま産業支援センター 総務情報課

TEL : 099-219-1275 FAX : 099-219-1279 E-mail : info@kisc.or.jp

## 日高水産加工有限会社

<https://www.hidakasuisan.co.jp/>

**焼酎黒七夕とさつま揚げで晩酌して締めはラーメン！注文もお支払いも簡単です！**

◆お電話一本でご自宅・ご友人・お世話になったあの人この人へ、お歳暮発送いたします。コンビニで利用できる振込用紙を郵送いたしますので、お支払いも簡単です。

焼酎黒七夕とさつま揚げで晩酌してラーメンで締めるセットをご準備しました。弊社売上No.1の豆腐入りさつま揚げと、ちぎり蒲鉾、焼酎黒七夕、鹿児島とんこつラーメン(写真はイメージです)の詰め合わせ「焼酎セット1」は4,600円(送料・税込み)。贈答用としてはもちろん、手軽に自宅で食べるのもお勧めです。電話、ファクス、弊社売店、HPで注文を受け付けています。詳細や他の商品はHPへ



「焼酎セット1」

いちき串木野市西薩町17-14  
TEL 0996-32-9421  
FAX 0996-32-9948  
資本金 1,000万円  
従業員数 60名

◆**事業概要**

創業昭和23年  
さつま揚げの製造販売

【2020年5月会員加入】

## 株式会社 津曲食品

<http://www.furusatoichiba.com>

**鹿児島の菓子文化を現代に伝える使命を胸に菓子製造に取り組んでおります。**

◆鹿児島には独特の菓子文化が存在します。薩摩藩が戦場に食料として持参したといわれている「あく巻」、薩摩のお殿様に献上菓子として作られた「かるかん」など、その郷土菓子を現代に伝えるため、その時代時代に沿ったアレンジを加え製造販売しております。

また最近では、日本人にはお馴染みのお団子を専門とした「彦一だんご」にて、鹿児島銘菓をアレンジした「かるかん団子」の販売をスタートいたしました。鹿児島の新しいお土産菓子として多くの方にご賞味いただけたら幸いです。



彦一土産箱



かるかん団子

曾於市大隅町月野3928  
TEL 099-482-5551  
資本金 1,000万円  
従業員数 80名

◆**事業概要**

鹿児島銘菓の製造販売・卸し業務。  
だんご専門店「彦一だんご」の店舗運営。  
洋菓子専門店「パティスリーアミティエ」の店舗運営。  
ビジネスホテル岩川・炙り家みずほ・コンビニの運営。

【2020年6月会員加入】

## 株式会社 テクノ21グループ

<http://www.techno21gr.com>

**「ロボット工場受託サービス」ロボット開発メーカーだからできる事業を始めました。**

◆労働人口の減少、賃金上昇、更なる品質向上、コロナ禍でも工場を止めない…ものづくりの現場において工場の自動化・ロボット化の必要性が一層高まっています。

◆しかし、ロボット導入には「導入コストが高い」「設置する場所がない」「詳しい人材の不足」の3つの課題があります。

◆「ロボット工場受託サービス」は、貴社が自動化したい生産工程を、弊社がロボット開発から生産までを一括して受託するサービスです。3つの課題をクリア、自動化のファーストステップです。



鹿児島溝辺工場



鹿児島溝辺工場  
：霧島市溝辺町竹子610  
本社：愛知県岡崎市真伝町  
亀山35-11  
TEL 0564-27-7121  
資本金 1,000万円  
従業員数 50名

◆**事業概要**

産業用ロボット、機械・装置の開発メーカー。電子機器組立、宇宙関連、サービス関連など幅広い実績があります。

【2020年8月会員加入】

## ベンチャープラザコーナー

### 第79回ベンチャープラザ鹿児島「二水会」

令和2年10月14日（水）鹿児島市で開催し、カクイ(株)、三州産業(株)、(株)鹿児島イーデン電気の県内の3社にそれぞれビジネスプランを発表していただきました。

当日は、来賓に塩田康一鹿児島県知事をお迎えしてごあいさつをいただき、新型コロナウイルス感染症予防対策のため入場者数を制限した会になりましたが、参加者（79名）は発表に興味深く耳を傾けるとともに、質疑応答も活発で盛会となりました。（発表企業累計259社、うち県内企業199社）



来賓の塩田鹿児島県知事



#### ○発表その1 セロビオース開発の経緯 ～なぜ綿屋が機能性物質を～最高の満足感を提供します。

(カクイ株式会社)

#### カクイ株式会社

代表取締役 岩元 正孝

鹿児島市唐湊4-16-1

TEL : 099-254-2131

FAX : 099-254-2136

URL : <https://www.kakui.co.jp/>



発表する  
岩元代表取締役



#### 発表内容

##### 《企業紹介》

弊社は創業以来140年間綿花を取り扱ってきました。日本で初めて機械によるふとん綿製造に成功しました。現在は世界で唯一の後晒式連続精練漂白法により脱脂綿の製造をおこなっており、その製法に起因する独特の風合いが高級化粧品で使われております。

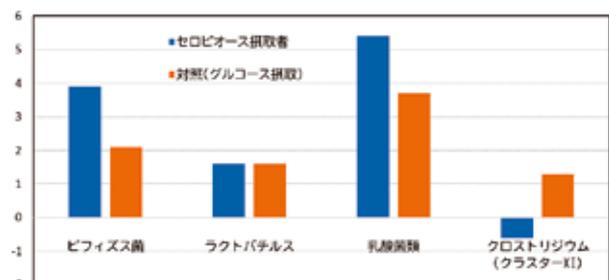
##### 《商品開発のきっかけ》

化粧品用途でも綿としての価格には限界があり、もう少し付加価値を上げなければならないと考えました。綿の主成分（90%以上）であるセルロースを酵素により分解すると糖を得ることができます。最終的にはグルコースという単糖になるのですが、その一歩前の段階で止めてセロビオースという二糖を得ることに我々は成功しました。

##### 《商品の特徴》

今回、摂取しやすさを考慮して「若美王」というセロビオース含有ゼリーを開発しました。セロビオースは自然界に極微量存在する希少糖です。ヒトが摂取すると消化されずに大腸に到達し、ビフィズス菌等の善玉菌の餌になりそれらを増殖させ、短鎖脂肪酸を産生します。短鎖脂肪酸のメリットは数多く、その一つとしてIgA産生を増強し免疫力を高めることが知られております。60才になるとウェルシュ菌に代表される第3群と呼ばれる悪玉菌が増加し、ビフィズス菌が減少します。

腸内細菌は老化のプロセスを変化させる可能性があ



セロビオース摂取6週間後の腸内細菌叢の構成割合変化量 (%)

るといえますし、腸内細菌叢をコントロールできれば老化を食い止めることがという考えにたどり着くのではないかと我々は考えます。

## 発表後の成果・感想

この度はセロビオースのプレゼンの機会をいただきありがとうございました。有識者の方々の貴重な助言をいくつもいただきました。今後の商品開発や事業展開に生かしていきたいと思いをします。

## 今後の展望

セロビオースは2015年に「抗腫瘍剤」として特許登録され、令和2年度サポイン事業に採択されております。他の素材との違いをより明確にし、国内、海外の市場に浸透するようセロビオースの機能を生かした商品開発を行ってまいります。

## ○発表その2 植物免疫に用いられるモジュール型蒸熱処理装置の販路拡大 植物病害虫の侵入・まん延防止へ 鹿児島から世界へ (三州産業株式会社)

### 三州産業株式会社

代表取締役社長 高崎 征忠

鹿児島市南栄4-11-2

TEL : 099-269-1821

FAX : 099-269-1862

URL : <https://www.sanshu.co.jp/>



発表する  
古垣海外プロジェクト  
課長



モジュール型蒸熱処理装置

## 発表内容

### 《企業紹介》

弊社は日本の代表的な葉たばこ産地である鹿児島県にて、1948年に葉たばこ乾燥機と関連資材の専門メーカーとして誕生しました。

今日では、その乾燥技術の開発で蓄積した熱管理技術を用い、農業・水産業の各種乾燥機や施設園芸用暖房機などの製造販売を行っております。その温湿度管理技術を応用し、植物検疫用の蒸熱処理装置を開発、東南アジアを中心に世界十数か国に70台以上の検疫処理装置の輸出を行ってきました。

### 《商品開発のきっかけ》

1983年に沖縄県からの要請を受け、沖縄のピーマンに寄生するウリミバエを殺虫するため、蒸熱処理装置の開発に成功、その後、国内の植物防疫所やODAを通じてフィリピンやタイのマンゴーを処理するための試験装置を輸出し、商用装置の輸出を行ってきました。

### 《商品の目的・特徴》

競合メーカーや海外製品などが出てくる中、2012年にはランニングコストを抑える運転が可能で、また将来的な処理量の増加に対応した増設可能な「モジュール型蒸熱処理装置」を開発して、他社との差別化を図り、ベトナム、タイ、パキスタン、カンボジアなどに輸出しています。



検疫処理施設



蒸熱処理されたマンゴー

## 発表後の成果・感想

コロナ禍で開催が延期になるなど、これまでとは違う雰囲気の中での発表ということでしたが、弊社の海外事業について興味を持って頂き大変良い機会を得られました。

また、発表後のコメントでは蒸熱処理技術の今後の可能性にも期待を頂き、技術開発を含めより一層励んでいきたいと思いをします。

## 今後の展望

本年は国際植物防疫年2020と定められ、植物検疫の重要性が高まっております。

今後も東南アジアを中心に三州産業の「蒸熱処理装置」が植物検疫にかかせない装置として求められていくよう一層の努力を行い、また、蒸熱処理技術を使った新たな装置の開発にも取り組み、植物検疫以外のニーズにも応えていきたいと思っております。

### ○発表その3 光触媒イーデンフラッシュの販路開拓 いまこそ感染症対策に光触媒を！

(株式会社 鹿児島イーデン電気)

#### 株式会社 鹿児島イーデン電気

代表取締役社長 川崎 勝

鹿屋市東原町6827

TEL : 0994-44-6396

FAX : 0994-44-8673

URL : <http://www.edfk.jp/>



発表する  
川崎専務取締役



## 発表内容

### ＜企業紹介＞

弊社は、省エネ機器販売業と電気保守管理業として1989年に設立しました。

その後、2003年に抗菌・抗ウイルスなどの感染症対策を柱とした環境事業部として光触媒事業を立ち上げました。

### ＜商品開発のきっかけ＞

はじめは本業の電気保守管理事業に従事するなかで、管理先の病院や工場などから施設の衛生対策や抗菌対策の相談があり光触媒製品の開発に着手しました。

その中で、年明けからの新型コロナウイルスの世界的な流行により抗菌・抗ウイルスなどの感染症対策の需要が高まったことから一助になればと考え、接触感染のリスクのある室内の手を触れる部分へ直接吹き付けが可能な光触媒イーデンフラッシュの新製品を開発しました。

### ＜商品の目的・特徴＞

現在、新型コロナウイルスの流行により感染リスクを抱えながらの不安な生活や、感染拡大に伴う大規模な経済的損失など大きな問題となっています。そういった状況のなか、抗菌・抗ウイルス効果が高く様々な感染症対策に非常に期待されている弊社開発の「可視光応答型銀系光触媒イーデンフラッシュ (EDF)」の販路拡大と取扱代理店の拡充を目的としています。



イーデンフラッシュ施工作業

## 発表後の成果・感想

光触媒を活用した感染症対策についてPRする良い機会となりました。また、発表を通して製品の優位点や改善点などを改めて発見することもできましたので、より良い製品開発に活かしていきます。

また、二水会に参加された企業の方々やメディアで知った方からの問い合わせなどいくつかありましたので、そういう需要に対応できるように現在体制を整備しています。

## 今後の展望

現在、鹿児島県内27社の代理店と共に鹿児島県光触媒施工協会を立ち上げ、鹿児島大学と連携し感染症対策を目的とした光触媒のPR活動を実施しています。

今後は新型コロナウイルスなどの感染症対策として公共施設や不特定多数の人が集まる商業施設・観光施設などへの導入を進め、更なる実績を積み重ね、3年後に開催が延期になりました鹿児島国体の会場等への導入などを目標に、光触媒を活用した感染症対策業の分野をけん引していく事業展開を目指します。

◆◆◆ **取引振興コーナー** ◆◆◆

## 令和2年度 かごしま取引商談会開催のご案内

県外の発注企業等を招へいし、県内受注企業と商談を行っていただく「かごしま取引商談会」を開催します。

商談会の詳細や参加申込み方法については、今後、当センターのホームページに掲載しますので、新規取引先の開拓にこの機会をご活用ください。

【昨年度 商談風景】

- 日時** 令和3年1月19日（火） 13：20～17：00
- 会場** ホテルウェルビューかごしま（鹿児島市）
- 主催** （公財）かごしま産業支援センター  
※中小企業地域資源活用等促進事業の助成金を活用して実施します
- 対象** 【業 種】 一般機械、金属、電気・電子、情報サービス  
関連企業等  
【参加企業】 発注企業20社、受注企業50社（予定）
- 方法** 事前に受発注企業の組み合わせを作成し、これに基づいて発注企業1社あたり受注企業7社と商談していただきます。  
（商談時間：25分 / 1面談）



※新型コロナウイルス感染防止については十分配慮し、状況を注視しながら必要な対策を講じますので皆様のご協力をお願いいたします。

【お問い合わせ先】（公財）かごしま産業支援センター 取引振興課  
TEL：099-219-1274 FAX：099-219-1279

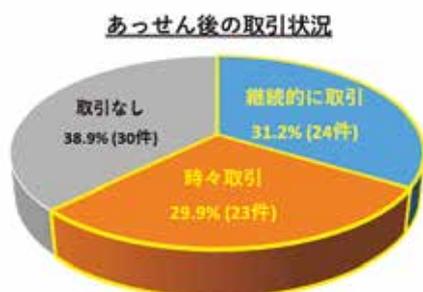
## 取引あっせんの実施状況と効果

【H30年度取引あっせん案件～1年後も約6割が取引継続、取引金額は当初の約31倍に！】

当センターでは、H30年度に220件の「取引あっせん」を行い、77件、36,158千円の取引が成立しました。1年後の状況を調査したところ、取引を継続しているものは47件、金額は当初の約31倍に拡大していることがわかりました。

【あっせん時（平成30年度）】	【1年後（令和2年度）】
◆取引あっせん 220件	◆取引件数 47件（約6割）
◆成立件数 77件	◆取引金額 1,137,920千円（約31倍）
◆取引金額 36,158千円	

中には、当初3万円で成約したものが、昨年度末までに累計8億8600万円の取引を行ったものもあり、当センターの「取引あっせん」は一過性でなく、継続されることで取引の拡大や新たな販路開拓に大きく貢献しています。



## 【情報会員限定】 社内パソコン研修に講師を派遣します

かごしま産業センターの情報会員に対して、社員の技術レベルに合わせた「社内パソコン研修会」の講師を無料で希望の日時に派遣します。  
この機会にぜひご利用ください。



### <内容>

- |           |  |
|-----------|--|
| 1. 対象企業   | かごしま産業支援センター情報会員   |
| 2. 受講者人数  | 2人以上   |
| 3. 利用パソコン | 自社内パソコンまたは講師持参でも可能（その場合有料）   |
| 4. 講座内容   | ワード、エクセル、パワーポイント、ホームページ、CAD等   |
| 5. 受講料    | 無料（但し、テキスト代実費負担）   |
| 6. 講座時間   | 5時間  |
| 7. 申込締切   | 令和3年2月26日（金）まで   |
| 8. 申込方法   | 当センターホームページから<br><a href="https://www.kisc.or.jp/outline/div-info/haken/">https://www.kisc.or.jp/outline/div-info/haken/</a> |

【お問い合わせ先】（公財）かごしま産業支援センター 総務情報課

TEL：099-219-1275 FAX：099-219-1279 E-mail：info@kisc.or.jp

<http://minaami-sinsa.com>



## <コロナに学ぶ> リスク対応できましたか？

ISOでは、品質・環境・労働安全衛生でも常々リスクと機会を考え、対応を計画実施、チェックすることで更なる改善を目指しています。  
食品安全 HACCP の相談も受付中。

## ISOの適切な運用でマネジメントに力をつけて、リスクに強く伸びる会社へ！

ISO等の審査・研修は

# 南日本審査(株)

- ・システム参考文書 無償提供
- ・内部監査員養成（受講料無料）
- ・県内審査員で交通費ほぼ0

始良市西餅田 3344-2

TEL0995-64-5727